

テストに向かう姿勢から

中学校初の定期テストとなった1学期期末テストが終了しました。お子さんの家庭学習の取組はいかがだったでしょうか。学校ではテストに向けた40時間以上の家庭学習を計画し取り組んできました。60時間以上がんばった人が何人かいる一方、30時間に満たない人もいました。学習の定着は時間だけではなく、質の問題もあるわけですが、努力という点では、2倍、半分といった具合に大きな差となったことは、間違いありません。1年生にとって大切なのは、その努力ができるかどうかということです。がんばっていたら認めてあげ、努力できていないと思ったら、励まし、がんばれる環境を一緒に作ってあげてください。今回のテストが1学期の終わりということではありません。むしろ中学校の学習スタイルのスタートです。ここからが大切ですので、ご協力よろしくお祈いします。

～「勉強の仕方が・・・」～

子ども達がよく口にする言葉です。「勉強の仕方がわからない。」「どうせ、覚えられない。」「効率よくできる勉強法が知りたい。」どれも、1つの言い訳でしかありません。これをやれば絶対大丈夫！などという効率のよい勉強法があれば、私たちが教えて欲しいぐらいです。勉強の仕方がわからないというのは、そもそも勉強していない人が言っている言葉です。自分で学習する方法として、「ドリル型」「演習型」「まとめ型」などのモデルを示しています。いろんな方法にチャレンジしながら、自分に合った勉強の仕方を探すしかありません。

「どうせ、覚えられない。」これも本気で覚えようとしないう人が言っている言葉です。ほとんどの大人は、自動車免許を持っています。交通法規はかなり難しいもので、そう簡単に覚えられないものではありません。でも合格しないと免許はもらえない。必要に迫られると、何とか覚えるのが人間です。本気になれるかどうかは鍵となります。

当然個人差はあります。今の力がどの程度かを考え、「この範囲だけは覚えよう。」など、自分で目標を設定することで、集中力や本気度をアップできるのではないのでしょうか。

今回のテストの結果や、取組の様子から、お子さんに合ったサポートをお願いします。



ずいぶん前になりますが、6月11日（木）スクールカウンセラーの佐藤恭子先生から講話を頂きました。ストレスへの対処法、上手につきあう方法を教わりました。その時の子ども達の感想です。

一組 小松 優治
僕は話を聞く前は、ストレスは健康に悪いものだと思っていました。だが、今日話を聞いて、ストレスは良いところもあって、味方にすれば、何の問題もないことがわかりました。これからは教わったことを頭に入れて、ストレスを良い方向に使うつもりです。

一組 遠藤 佳帆
私もよく家族のことで、いらして「ストレスたまる〜。」ということがあって、どちらかというとストレスは体に悪いと思っていました。だけど、実はストレスは体に良い、と思うと本当に良くなるということを知って驚きました。これからストレスがたまることもありますが、それをチャンスに変え、ポジティブに生活していきたいです。

二組 星 友紀菜
私は今まで、ストレスは悪いものと考えていました。恭子先生の講話を聞いてストレスは味方にすることができるということがわかりました。ストレスは健康に悪いとは思わずに、ストレスは役に立つと思えるように、人といっしょに協力して、がんばろうと思ったり、何事にもチャレンジしようと考えて、ストレスに強い人になりたいです。今はコロナウイルスなどの感染症でストレスがたまるかもしれないけれど、この講話を思い出してこれからもがんばりたいです。

① 職員室の会話から

「最近忘れ物多いよね。」1年生はどうか？日常を振り返ってみると、ネームプレート、箸、ハンカチ、ティッシュ、自転車の鍵かけ忘れ、やっぱり出てきます。たまには忘れることもあると思いますが、日常生活こそ大切にしたいものです。学校でも指導していきますが、よろしくお願いします。

② 給食委員会の取組 パーフェクト達成

先週の「花咲き山」にも途中経過を掲載しましたが、給食の準備から後片付けまで時間についての取組が終了しました。見事パーフェクト達成です。良い面はどんどん伸ばしていきたいと思っています。